西暦 2021年5月7日

　　　　　　再生医療等技術専門員評価書

カメイクリニック ２認定再生医療等委員会殿

（氏名） 亀井康二

下記の臨床治療における科学的観点での評価について以下のとおり報告いたします。

　なでしこクリニック

　　提供する再生医療：自家多血小板血漿（自家PRP）注入による育毛治療

　　技術専門員の専門分野：形成外科、美容外科

　　治療の妥当性：あり

専門的評価

１． 再生医療の特徴

もともとPRP再生医療の対象となるものは、先天性、外傷、老化などによる明らかな組織の変形、萎縮があり、その再建を希望するものであった。従来、これらの病態の治療には、脂肪移植、ヒアルロン酸注入などが用いられてきたが、脂肪移植は脂肪の採取、 生着率、感染、将来的な移植脂肪の増大などの問題点が指摘されている。また、ヒアルロン酸注入は、吸収性の問題や違和感がある場合がある。また、血管に入った場合、血管閉塞などの重大な問題を引き起こすことがある。その点、この多血小板血漿を用いた再生医療はそれらの問題をクリアーした傑出した治療法である。そして本治療法が、近年、毛髪治療に応用されてきている。すなわち、毛髪の萎縮性病態にはこれまでなかなか良い治療法がなかったが、近年、多血小板血漿を注射することによって良い成績が得られることが報告されてきている。

1. 注意すべき点

これまでと同様、PRPが汚染されないよう気をつけるべきである。 bFGF は恐らく必要ない。

1. 考えられるメリット・デメリット

メリットは血小板の採取が容易であり、患者の身体的負担が少ないことである。また、 患者自身の細胞が増えることによって治療が行えることであり、異物を注入する治療とは異なって、将来的にも安全性が高いことである。デメリットは複数回の継続的な治療が必要になることである。

1. 総評

多血小板血漿を用いた再生医療は、他の治療法に比べて、患者の身体的負担が少なく、 血管閉塞のような重大な合併症も見られず、大変優れた治療法である。